

東芝空調換気扇 取付説明書

形名
VFE-8JDT,10JDT,12JDT,50STタイプ

- この換気扇の注意事項をよく知り、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
- 取付工事は必ず専門の工事店にご依頼ください。
- 別冊の取扱説明書及びこの取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意

- 表示の説明
- △警告 “取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容”を示します。
- △注意 “取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことか想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定される内容”を示します。

*1:重傷とは、失明などが、やけど（高熱・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものとします。
*2:傷害とは、治療に入院・長期の通院を要しない、けが、やけど、感電などをします。
*3:物的損害とは、家庭・家財および家業・ペットなどにかかる極度の損害をさします。

図記号の説明

- 禁止（してはいけないこと）を示します。
- 指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
- 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

△警告	△注意
●取付け・移設は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する	天井面に取り付けない 落なし、けがをする原因になります。
●電気工事は電気工事士（※）が行う 電気工事以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼はお買上げの販売店または電気工事店にご相談ください。	前後左右に傾けて取り付けない またパイプは確実に排水するよう取り付ける 排水の原因になります。
●取り付けは取扱説明書に従って確実に行う 取り付けが不完全なときは、水漏れ・感電・火災・部品落下によるけがの原因になります。	浴室など湿気の多い所には取り付けない 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
●炎が接近したり、あたるおそれのある所には取り付けない 火災の原因になります。	炎が接近したり、あたるおそれのある所には取り付けない 火災の原因になります。
●改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。	メタルラス張りなどの金属造材に接触しないように取り付ける 漏電したとき、火災・感電の原因になります。
●分解・修理はしない 修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝エアコン空調換気をご相談センターにご連絡ください。	パイプは室外に向かって下りこう配に取り付ける 雨水の侵入により、火災・感電・水漏れの原因になります。
●給排気口は燃焼ガスや有毒ガスなどを吸い込まない所にする また積雪で給排気口をふさがない所にする 新鮮な空気の換気ができず、ガス中毒や酸欠の原因になります。	本体カバー・熱交換器などの部品は確実に取り付ける 落により、けがをする原因になります。
●強度のある所に確実に取り付ける 落により、けがをする原因になります。	壁穴がこの線より下にはみ出さないようにしてください
●電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。	513(本体外形寸法) 33-Φ5.5穴 (取付板固定用)

取付上のお願い

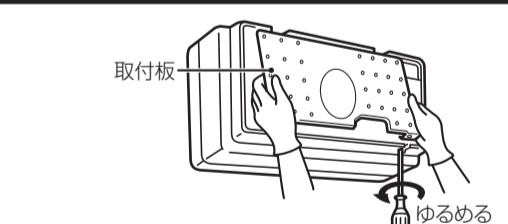
- 次のような場所には取り付けないでください。
1. 高温（40℃以上）になる場所
①ガスレンジの真上
②ガス湯沸器の真上
2. 浴室など湿気の多い場所
3. 台所など油の多い場所
4. 食堂食器の発生する場所
5. 窓戸器・加湿器の近くや直上
6. 直射日光がある場所
7. 照明器具から2m以内の場所
- 住宅用火災警報器より1.5m以上離れた位置に設置してください。（総務省令第138号、第七条による）
- 製品は直接壁に取り付けますので、下記条件に合う場所を選んでください。
1. 風の吹出口、吸込口に障害物のないところ
2. 本体カバーは設置して熱交換器を前に引き出せるところ
3. 壁の下部に障害物がないところ、シャッターレバーが操作しやすいところ
4. VFE-50ST
5. シャッターキルも操作しやすいところ

各部のなまえと寸法

付属品	付属品の確認をしてください。
●VFE-50STタイプ(コード出し用)	全タイプ共通 パイプ一本 255mm タップねじ一本 木ねじ 4本 (取付板固定用) コード止め 1個 割りチューブ 1本 75mm 24時間ラバベル 1枚
●別売部品をご利用ください	詳しく述べはカタログをごらんください。 ●パイプフード……C-702R/C-702RK（樹脂製） C-703R/C-703RK（鋼板製） C-704R（ステンレス製） C-701LY/C-701LYK（アルミ製） C-704LY/C-704LYK（ステンレス製） ●防火ダンパー付パイプフード……C-704RD（ステンレス製）

取り付け前の準備

本体下部の本体固定ねじ2本をはずし、取付板を本体からはずす。



取付方法

■本体を先に取り付ける場合

1-1 型紙を利用し取付位置を決め、パイプ用壁穴（Φ110）を開ける。

- 取付板固定用穴に開けたところを用いてください。
- 取り付け場所が弱いと振動・騒音・落下的原因となりますのでご注意ください。

1-2 VFE-8JDT,10JDT,12JDTタイプは型紙を利用し電源電線引き出し可能範囲のなかに穴（Φ15程度）を開け、電源電線を屋内側に引き出す。

- 電源電線はVVFΦ1.6またはΦ2.0を使用してください。

1-3 付属のパイプを壁厚+Ammの長さに切断する。

- 外壁部材の種類によりA寸法が異なりますので、詳しくは外壁部材の取扱説明書をごらんください。

1-4 パイプを壁厚+Amrnの長さに切断する。

- パリがでた場合は、取り除いてください。

1-5 取付板を付属の木ねじ4本で固定する。

- 取付板には取付用の穴がいくつもあっていますが、隙間に固定できる穴を使用してください。

1-6 パイプを取付板に取り付ける。

- ジョントの切欠き部を取付板の凸部に合わせて取り付けてください。

1-7 別売の外壁部材（パイプフード等）を壁面に取り付ける。

- 外壁部材は必ず取り付けてください。雨水の侵入により、火災・感電・水漏れの原因になります。

1-8 VFE-50STタイプはコードを左側から出す場合

- ツメとコード止め部分には付属の割りチューブをかぶせてください。

1-9 VFE-8JDT,10JDT,12JDTタイプは電源電線を本体内へ引き込む。

- 本体の位位置が、屋内配線、電話ケーブル、柱などの障害物にかかるないようにしてください。

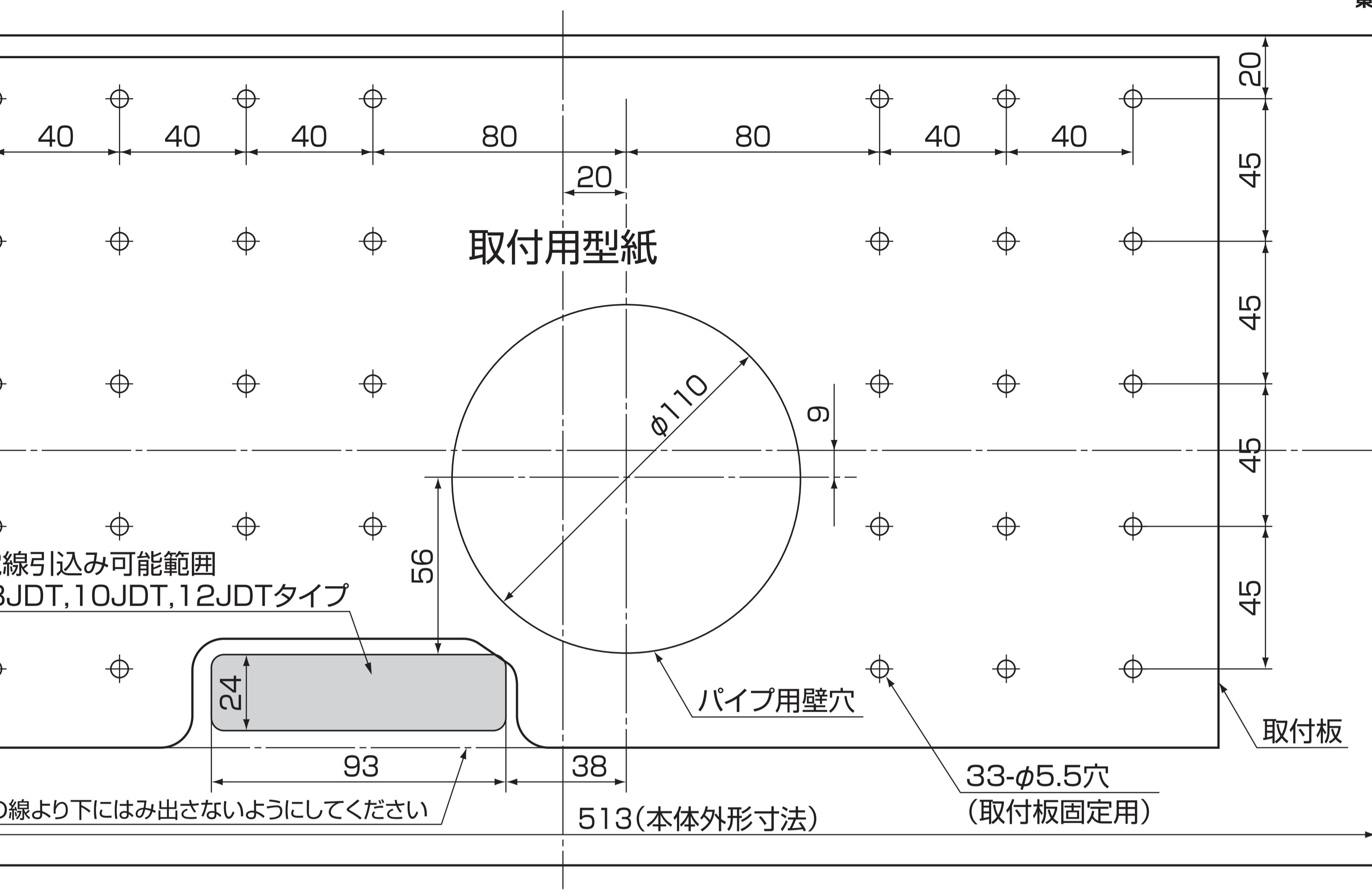
1-10 本体を取付板に固定する。

- 本体上部の穴を取付板の引掛け部に引掛け、本体固定用ねじを2ヶ所締め付けて本体を固定してください。

1-11 VFE-8JDT,10JDT,12JDTタイプは電源電線を接続する。

- SL端子に電源電線の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。

1-12 VFE-50STタイプは電源プラグをコンセントに差し込む。



試運転

- 各部の取付強度は十分か。
- シャッターレバーを開ける。
●シャッターレバーを「開」の位置まで完全に開いてください。
- VFE-8JDT,10JDT,12JDTタイプは電源を入れる。
①本体の電源プラグを差し込む。
②壁に取り付けた本体のスイッチを「入」にする。
- VFE-50STタイプはスイッチ引ひも操作引掛けなどスムーズに操作できるか。
●風速の激しいときは、運転を停止してシャッターを開じてください。
●運転したとき異常音・振動がないか確認してください。